

別記様式(第7条関係)

会議録

- 1 会議の名称 富士川町地域公共交通活性化協議会（地域公共交通会議）
- 2 会議日時 令和6年3月26日(火)午後2時から
午後3時まで
- 3 開催場所 富士川町役場 1階会議室101
- 4 出席者数
 - (1) 委員 22人（内委任状提出4人）、欠席1人
 - (2) 執行機関 防災交通課 2人
- 5 議題
 - (1) 令和6年度地域公共交通活性化協議会予算（案）について
 - (2) 地域公共交通計画（素案）について
 - (3) 今後のスケジュールについて
 - (4) その他
- 6 会議資料の名称
 - ・令和6年度地域公共交通活性化協議会予算（案）
 - ・地域公共交通計画（素案）
 - ・今後のスケジュールについて
- 7 発言の内容
 - (1) 令和6年度地域公共交通活性化協議会予算（案）について

事務局	・資料の説明 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ33,702千円となり6,801千円の増となります。
委員	※意見なし

議長（会長）	原案のとおり承認
(2) 地域公共交通計画（素案）について	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の説明 基本方針「将来を見据えた持続可能な公共交通の実現」 “生涯”快適に暮らせるまちのため公共交通 基本目標 目標1：住民生活を支える公共交通の確保・維持 目標2：利用者に寄り添った公共交通 目標3：未来に誇れる公共交通体系の模索 ※詳細は資料
委員	P12の4. 数値目標の中で、利用者数のデマンド交通の定時定路線については人口減少率を、区域運行については65歳以上人口減少率をそれぞれ乗じた目標値を設定しているが、この使い分けの考え方を教えていただきたい。
事務局	目標値の利用者数の項目については、現状の利用率を維持していく事を目標とするため、基準となる令和4年の数値に、人口の増減率を乗じた数値を採用しています。その中で、デマンド交通の区域運行については、利用者のほとんどが高齢者であることから、高齢者に絞った65歳以上の人口減少率を採用しています。
委員	P14の【目標1】住民生活を支える公共交通の確保・維持の具体的な施策として(3)補助制度の活用の中に記載されている「国や県の補助制度を積極的に活用」とあるが、県の補助制度としては、市町村自主運営バス運行費補助金による廃止代替路線の維持を想定しているのか。
事務局	おっしゃる通り、市町村自主運営バス運行費補助金の活用について言及しています。

委員	P14の【目標1】住民生活を支える公共交通の確保・維持の具体的な施策として(2)公共交通の効率化・利便性の向上について、「先進技術の導入を支援・推進」とあるが、この先進技術とは、P15の【目標3】未来に誇れる公共交通体系の模索の(1)先進技術の導入検討に記載されている技術と同じものなのか
事務局	先進技術の内容としては、「オンライン予約や電子決済、AIデマンド、自動運転技術など」を想定しており同じものです。それぞれ目的を、先進技術の導入による効率化での公共交通を確保・維持と、先進技術の導入による公共交通のイメージの向上とに分けて記載しています。
委員	計画の期間については令和6年度から令和10年度という事で、この期間で毎年チェックを行っていくという事によるのか
事務局	おっしゃる通り、この期間で毎年各施策の進捗をチェックしながら、必要に応じて改善を図ることで目標の達成を目指します。
委員	※その他意見なし
議長(会長)	原案のとおり承認
(3) 今後のスケジュールについて	
事務局	今後のスケジュールについて資料の説明 <ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントの実施 ・パブリックコメントの意見反映 ・6月頃に協議会を開催し、承認を経て計画策定を目指す
委員	※意見なし

(6) その他
委員

※意見なし

閉会